

# 奈良21世紀フォーラム

2003年レポート

会報 6

## 「源流の森を守る」小学生向け副読本 完成…2万部を配布…

当フォーラムは、吉野川・紀の川流域の小学校に配布する副読本「水の旅のはなし」の製作を依頼され、3月末に2万部を小学校へ届けた。

## 水源地の森保全事業協力に感謝状

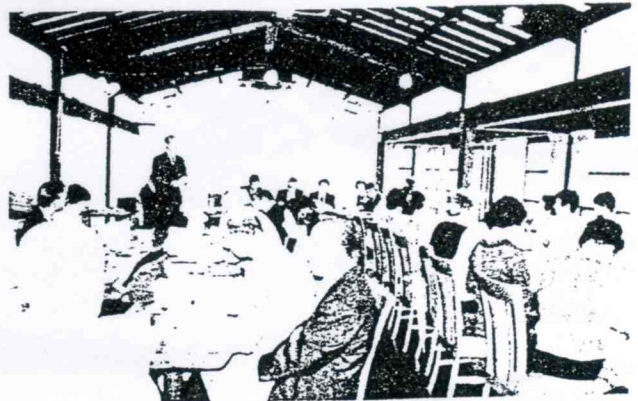
源流館開館一周年行事の一環として、「財団法人吉野川紀の川源流物語」（理事長 大谷一二村長）より水源地保全の募金協力や副読本の製作に対して感謝状をいただいた（4月29日）。

感謝状を受ける扇谷専務理事



## 5月10日に定時総会を開催

平成15年度の定時総会を「あしびの郷」で開催。会員総数71名中41名の出席を礼て、14年度の事業報告および事業収支を報告、さらに15年度の事業計画案、事業予算を説明、了承を得た。



15年度の主な事業計画は、①川上村の「森守募金」への協力やイベントの支援、②今年10月に秋篠音楽ホールで行われるイタリア作曲家トスティの国際コンクール日本予選の準備協力、③県内の世界遺産のデジタルアーカイブ化等。理事からは、当フォーラムは既に3年経つので、もっと会員の

増強が必要で、新しい会員の勧誘を皆さんにぜひお願いしたいという発言があった。

## 記念講話と奈良町散策

(総会后 13 時～16 時)

理事の増尾正子さんが「奈良の昔話」を上梓されたのを機に、早速、定時総会の記念講演と奈良町のご案内をお願いした。



増尾さんは、元興寺町の(株)砂糖傳増尾商店の四代目で、散策の途中でお店に立ち

寄り幻の砂糖「阿波の和三盆」を賞味させていただいた。

増尾さんは奈良町を知り尽くした方で、尼寺の高林寺の住職の若いころをご存知で、「私が学生のころ、今の住職は本当にきれいで憧れの的でした」とおっしゃるとおり本当に美しいおばあちゃん住職でした。

増尾さんのご案内で、小塔院→庚申堂→高林寺→御霊神社→十輪院→元興寺→猿沢池 まで約 3 時間、本当にご丁寧にご案内いただき、小塔院にあったという小さな模型のような国宝の五重塔、十輪院の石仏龕のお地藏様など珍しさに参加会員は感動。増尾理事のおかげで有意義な一日を過ごすことができた。参加した会員には増尾理事の近著「奈良の昔話」を贈呈。

### 世界遺産アーカイブ構想で奈良は資産家

奈良は古代から現代まで長く生きながらえてきたまちで、このように長寿の都市はわが国には他に例がありません。その結果、世界遺産や文化財が多く残され、この遺産・文化財の映像が数多く記録・保管(デジタルアーカイブ)されています。

当フォーラムは奈良の世界遺産・伝統文化のデジタルアーカイブを活用して「**世界遺産都市平城京の精神・文化資産を次世代に伝え、伝統文化関連産業の活性化とコンテンツ産業の創出に活かし、世界遺産の魅力が奈良ブランドとして世界に発信する**」という事業に着手し、参加・体験・学習型観光に適応した地域づくりを推進という世界アーカイブ構想を提案しています。

さらに地域づくりとして 8 件の世界遺産を持つ奈良をひとつのオープンミュージアムと捉えて「観光の質」を変え、観光を 21 世紀のリーディング産業に成長させることを提案しています。

(安細恭弘 記)

